

子どもから大人までの発達障害 — ESSENCEの視点から —

2025 10/11 (土)

13:00～16:30 (12:30開場)

入場
無料

ESSENCEとは、「Early Symptomatic Syndromes Eliciting Neurodevelopmental Clinical Examinations (神経発達の診察が必要になる早期徴候症候群)」の略で、ギルバーグ教授により提唱された概念です。発達障害、知的障害、チック症、てんかん症候群、その他の神経発達障害を含む神経精神医学的・神経発達の診断が必要となるような徴候が、発達の早期に見られている状態を表しています。

高知県立県民文化ホール グリーンホール

〒780-0870 高知市本町4丁目3-30

会場駐車場はございません。公共交通機関をご利用いただくか、周辺の有料駐車場をご利用下さい。

クリストファー・ギルバーグ 教授

PROGRAM — 同時通訳あり —

講演1 「ESSENCE：幼児期から成人期まで」

クリストファー・ギルバーグ 教授

(スウェーデン ヨーテボリ大学 ギルバーグ神経精神医学センター長)

通訳：重松 加代子 氏



講演2 「日本における発達障害の人たちと家族の地域支援システム — 乳幼児健診を起点とした切れ目のない支援を目指して —」

本田 秀夫 教授

(信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室)

精神科医・医学博士
児童精神医学分野の教授として研究・教育に従事。自閉症、アスペルガー症候群、ADHDほか、児童・青年期の精神医学、神経発達の領域に関連する830本以上の国際的な査読済み論文を発表、これらの論文は、ICDやDSMなどの国際疾病分類にも影響を与えている。長年にわたる臨床経験から治療分野での著作も多く、これまでに36冊以上の本を執筆、様々な国の言葉に翻訳され世界で出版されている。また、これまでの研究成果により、数々の名誉ある賞を受賞。現在、ギルバーグセンターをはじめ、他の機関において多くの研究者のスーパーバイズをしている。

ディスカッション テーマ：「ESSENCE—地域で出来る支援—」

進行：畠中 雄平 特任教授

(鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部医療福祉学科)

通訳：重松 加代子 氏

参加対象者

一般 (どなたでも参加いただけます)

申込について

定員：500名 ※先着順 — 定員に達し次第受付終了 —

下記URLかQRコードから、電子申請サービスにてお申込ください。



https://apply.e-tumo.jp/pref-kochi-u/offer/offerList_detail?tempSeq=14448

※ 詳しくは、別紙「申込方法等について」を参照ください



本田 秀夫 教授

精神科医・医学博士
東京大学医学部医学科卒業。東京大学医学部附属病院、国立精神・神経センター武蔵病院、横浜市総合リハビリテーションセンター、山梨県立こころの発達総合支援センター、信州大学医学部附属病院をへて、2018年から現職。プロフェッショナル 仕事の流儀 (NHK総合)、ハートネットTV (NHK Eテレ) などメディアにも出演。日本自閉スペクトラム学会理事長、日本児童青年精神医学会理事、特定非営利活動法人ネスト・ジャパン代表理事ほか多数歴任。

主な書籍
・発達障害—生きづらさを抱える少数派の「種族」たち—
・子どもの発達障害—子育てで大切なこと、やってはいけないこと—
・学校の中の発達障害—「多数派」「標準」「友達」に合わせられない子どもたち— ほか多数

主催：高知県 共催：高知県小児科医会、日本小児科学会高知地方会

後援：高知新聞社、RKC高知放送

〈注意事項〉

- 参加には事前申込が必要です。
- 当研修会は、日本小児科学会新専門医制度として2単位「iii小児科領域講習」、日本医師会生涯教育制度として、2単位「11予防と保健」を申請予定です。

〈問い合わせ先〉

高知県立療育福祉センター
高知ギルバーグ発達神経精神医学センター
TEL 088-844-2021
FAX 088-802-6101
✉ kochigillberg@ken.pref.kochi.lg.jp

